



かけがえのないあなたに

学校長 梅田 比奈子

今年の夏は、本当に「酷暑」という言葉がふさわしい日々でした。7月の終わりに開催された区の水泳大会も熱中症にならないように、休憩タイムをとってシャワーをあびたり、水に入ったりするなどの工夫して実施しました。日頃の練習の成果を発揮した子どもたち。「ベストタイムがでた!!」「緊張した」などの声を聞く事ができ、それぞれ、充実した時間がもてたのではないかと思います。私は、この水泳大会に参加して、瀬小の子どもたちが素晴らしいなと改めて感じたのは、応援でした。自分たちの学校の選手が出る時はもちろんですが、リレーなどで頑張っている他の学校のチームにも大きな声で応援しています。そんな子どもたちを見ていて、とても誇らしく思いました。そして、市の水泳大会。金沢区の代表として、本校からも選手が参加し、一人ひとりが力いっぱい泳ぎました。今年もゲストは、成田真由美選手。「夢をあきらめない」ということと「命の大切さ」等について、子どもたちにメッセージをくださいました。



私は、成田選手の話聞きながら、先日、山口県周防大島町で行方不明となっていた2歳男児を発見した尾畠春夫さんのインタビューを思い出しました。東日本大震災をはじめ、様々な地域でボランティアとして活躍している尾畠さん。尾畠さんは、子どもを見つけた後、こうお話していました。「人の命より重いものはない。尊い命が助かってよかった。」そして、その後、尾畠さんのインタビューを様々読んでみると、こんな言葉にも出合いました。「やっぱり夢を持ち続けるっっちゃうことじゃないですかね。夢をもったらそれを目標に立てて、計画を立てて、迷うことなく実行するのがいいんじゃないですか。私はそうしてるんです。」

立場や年齢は全く違う二人。でも、前に向かって努力し、感謝と人を思う心をもったお二人の言葉は、同じ事を私たちに伝えてくれているように思います。「あなたは、かけがえのない一人。だから、自分の命を大切に。そして、あなたの夢に向かって頑張る。」と



学校が始まって、子どもたちの笑顔が学校に戻ってきました。やはり、「学校は、子どもがいるから輝いている」と改めて感じています。8月28日は、金沢区の「横浜子ども会議」があり、「だれにとっても居心地のよい学校づくり」というテーマで、話し合いが行われました。金沢区、すべての小中学校と義務教育学校、そして金沢高校の生徒が集った会議。各学校の代表の子どもたちが、一人ひとりを大切にしたり、みんなが安心して生活できるようにしたりするには、どのような考え方を、何を行っていくことが大事なのかについて、真剣に考えていました。

これから、学校は、前期のまとめ、そして、スポーツフェスティバルに向けて頑張っていきます。あなたは、世界中に一人しかいない、かけがえのない存在です。夏休み明け、新たな目標ももち、自分を大切に、そして、それと同じように周りの人を大切にできる瀬小つ子を私たちも大切に育てていきたいと思えます。